

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 2 号)

2025年10月31日発行
兵庫のり研究所

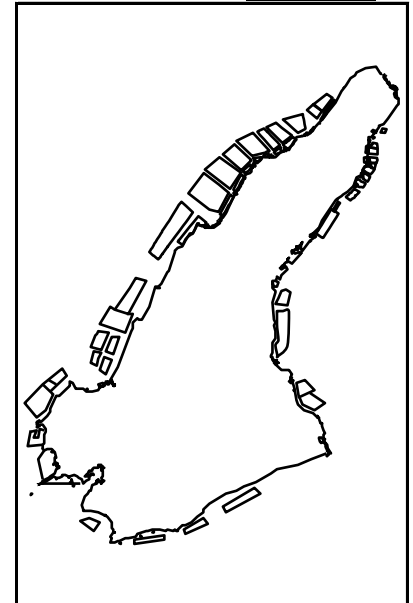
海域全般に、大型珪藻コシノディスカスが前回同様やや多く確認されます。窒素は、西浦海域で1 $\mu\text{g at/L}$ 台、東浦海域で概ね3~5 $\mu\text{g at/L}$ 台、南浦海域で概ね2~7 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻・栄養塩)

各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西浦海域で700細胞前後、南浦海域(湊)で700細胞前後 (前回値: 500細胞前後)、東浦海域で200~800細胞 (前回値: 100~500細胞)、南浦海域(阿万・灘)で30細胞前後 (前回値: 200細胞前後) であった。

阿万では、陸水の影響によりアンモニア態窒素・リンの値が高くなっていた。海域全般に小型珪藻は、ほとんど確認されなかった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	4.4	3.5	3.6	4.8
	リン	0.51	0.46	0.50	0.60
西浦地先	窒素	3.0	1.8	4.6	3.6
	リン	0.52	0.47	0.67	0.61
南浦地先	窒素	2.7	1.9	3.2	2.8
	リン	0.49	0.44	0.55	0.58

(10/27)

※窒素・リン
の平均値は、
阿万を除く

(10/31)

栄養塩 (窒素) 図

2025年10月31日調査

